

銀漢亭日録



伊藤伊那男

9月2日(金)

▼台風接近というのが東京は平穩。ただし客の入り5名。20時半に閉めて、いづみさんと居酒屋でヤケ酒。そこへ道遊さんから電話あり、店の前にいると、一緒にもう一軒飲み直す。

3日(土)

▼「銀漢上野公園吟行会」。台風接近の報があったので各自勝手に吟行し、14時会場集合という段取り。12時過ぎに行き、松山、いづみさんと「韻松亭」にて食事。外は暑いので店にいつけ。五條神社に寄つて会場へ。38人。17時から近くの「笑々」にて親睦会。30人程。一旦しめて同店で二次会、皆飲みな。

4日(日)

▼13時中野サンプラザにて「春耕同人句会」。二ヶ月振りに参加。終つて居酒屋にて親睦会。あと中野駅のホームにて「山暦」主宰・青柳志解樹先生、前沢宏光氏とはつたりお会いする。「山暦」も中野サンプラザで句会。新宿から京王線に乗ると前の座席に「鷹」同人会長の奥坂まや夫妻とばつたりお会いする。何と！

5日(月)

▼発行所勉強会10人ほど。安住敦について。終つて店へ。麒麟、中本真人(「慶大俳句」出身、「山茶花」)、相子智恵さんから若手5人。「りい」の卓田謙、山崎祐子さん3人、真砂年、二平、うさぎさんなど。相子さんは信州飯田の出身。今、地元誌に井上井月について連載中。10月に駒ヶ根で私が講演するが、そのあと一緒にシンポジウムをする予定。角川賞作家。

6日(火)

▼「銀漢」10月号の校正。「湯島句会報」校正。「角川俳句年鑑」へ自選5句。「春耕」11月号出句なく。店、閑。有史さん、康代さん来て各々ウーヴ・クリコ抜く。

7日(水)

▼発行所で「きさらぎ句会」、あと6人。帰路、思いついて駅

前の居酒屋に入り、井上井月の講演会の構想を練る。2時まで。

8日(木)

▼選句、作句、その他雑務。昼寝。店、閑散。有史、芥さん……など。

9日(金)

▼発行所は10月号の最終校正、あと編集会議。23時閉めて坪井、いづみさんと「天鵝」。

10日(土)

▼まだまだ暑い。部屋を片付け。13時、ひまわり会館にて「銀漢本部句会」46人。終つて「和民」にて親睦会20人程。

11日(日)

▼5時半起。今日から二泊三日で伊勢神宮へ。宮司で広報室長の河合さんから娘婿の宮澤を通じ二人を観月会に誘つていただいたもの。12日の名月を伊勢でと。13時過、伊勢着。ホテルに荷を置いて、内宮参拝。おかげ横町にて伊勢うどん。鮫のタレなど仕入れ東京へ送る。19時、宮澤と合流し、「レストラン麦酒蔵」で河合宮司と会食。好き酒ならぬ好きビール7種。升に入った料理6種。味噌風味のビザなど。あと河合さんの家を訪ね白ワインと葡萄酒。神宮の橋の古材から作つた擬宝珠の香合いたく。

12日(月)

▼7時ホテルで朝食。7時半、志摩の先、国崎の海士潜女(あまづきめ)神社。倭姫が巡行の折にこの地の海女・おべんから極上の鮑を受けたことから、二千年に渡つて髪斗鮑を作つてゐる故地。宮澤の撮影の供をしたもの。戻つて、外宮の下の井、土宮、内宮近くの月読宮を撮り、「喜多内」で鰻。一旦ホテルに戻る。ビールが効いて昼寝。16時から多内宮に向う。御稲御倉神社、下御井神社を撮影。17時半より内宮神苑にて観月会。短歌は岡野公彦、俳句は鷹羽狩行が選者。あと雅楽、舞楽があり、今日の月の中能能す。終つて「虎丸」、河合さんも合流。鮪、鯨などの刺身、鱈、鱈の塩焼き、海鮮コロッケ、手こね寿司などで日本酒、地元の義左衛門など。

13日(火)

▼8時朝食。宮澤と助手は6時から撮影。9時5分、宇治山田発。13時半、直接店へ戻る。「火の会」9人。伊勢にて調達

した鮫、ウツボ、鯖の干物、真珠貝の粕漬、赤福など。「伊勢の土産に何故、鮑、伊勢海老がないの？」という素朴な疑問が出るが受け流す。

14日(水)

▼発行所「梶の葉句会」。選句。大野田好記さん「高遠句会」の選句依頼に来店。店、山崎裕子さん他。閑散。21時半閉めて展枝、いづみ、真さんと。

15日(木)

▼午前中選句。発行所14時から「湯島句会」の製本。店、「未來図」の守屋編集長、「天為」対馬編集長。「銀漢句会」終つて22人雪崩込む。いわきの古市枯声さんより秋刀魚箱到着。25本程あつたが刺身に造る。皆、大喜び。大型で脂が乗つてなんともうまい！

16日(金)

▼午前中選句。発行所14時から「野村句会」。選句に上る。終了後7人が親睦会。学生時代の茶道会の先輩・古川さんお嬢さんと来店。

17日(土)

▼10時、発行所にて運営委員会。13時から16時、座談会。「萩」の方。権守、新谷、大山、田中、佐々木、角さん。司会、武田編集長。17時から編集会議。終つて「きなりや」9人。現在同人58人、会員166人、計224人。別に購読会員89人。合計313人。

18日(日)

▼散髪、買物。俳句年鑑執筆の下調べなど。14時、久々、長女の家。次女も来る。鱈、松茸、鰻ぞうすい、からすみ、秋刀魚刺身、だだ茶豆、巾着茄子、数の子など。シャンパン、日本酒。しばらく見ない間に10ヶ月の伶ちゃん歩き始めている。

19日(月)

▼終日家。角川添削教室5人分。銀漢添削教室。講演資料作りなど。

20日(火)

▼脇行雲さん東京での勤め終え、生国・四国中央市へ帰ることになったので、その送別句会。30人程集まる。カウンターに群馬の鈴木さん、伊那北同期の三沢君。親戚の五日市さん、「天為俳句会」の面々など。23時に閉める。

21日(水)

▼大型台風15号関東接近中として朝から断続的に激しい雨。

22日(木)

▼発行所は10月号の発送作業、いい仕上がり。終つて編集長以下5名程店。白濱武子さんの話面白し。「天為」の方々、句会のと寄つてくれる。伊那の小池百人君。今日早速駒ヶ根に行き、文芸セミナーの幹事、宮澤宏治さんと小生の講演後のスケジュールなど打合せしてくれた模様。

23日(金)

▼11時過店にて仕込。14時から発行所にて打合せ。17時より学士会館にて天野小石さん句集「花源」出版記念会。140名の出席。「銀漢俳句会」からも30人！超結社句会「火の会」を代表してスビーチ。17時半から銀漢亭にて二次会55人。22時過まで。あとカラオケ「パスラ」に呼び出されて行く。若者中心に20人程。結局2時迄。

24日(土)

▼アメ横大東商店にて松茸沢山買う。間違えて1時間早く日本橋。本日「纏句会」にて電車の中から席題をメールで送つたところ秋葉男さんにすい分早いですが時間間違えていませんかと返信あり気付く。喫茶店にて雑務。「纏句会」15人。終つて鮎の風干、帆立うに焼、鰻南蛮漬、鯖焼、ひめ菜、鰻焼、白子揚。酒は石巻の日高見。あと握り鮓。終つて洋酔、禪次さんと展枝さんの家。洋酔塾の面々と合流する。真さんのトマト鍋うまし。洋酔さんとは指切りをしていて19時半には退出して帰宅。

25日(日)

▼6時起床。亡妻、光代七回忌の案内状を出す。「銀漢」同人推挙の文案「湯島句会」選句。「銀漢」11月号の選評などなど……。16時過、成城、桃子の家。杏一家も来る。松茸とさりのスキ焼。一年に一度はこれをやる決まり。